

●前回(昨年12月24日)以降のデータ公開数は約8,900件

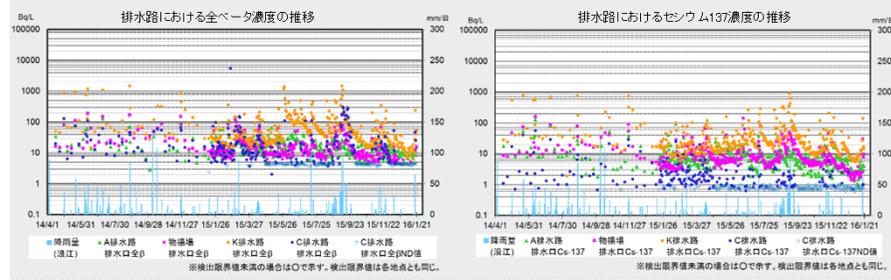
前回以降、「周辺の放射性物質の分析結果」「日々の放射性物質の分析結果」のデータ約8,900件を公開しました。

●13日に発生したダスト警報は、構外道路ダンプ通過による砂塵舞い上がりの影響と推定

1月13日、敷地南側境界付近のモニタリングポストNo.7近傍のダストモニタで放射能濃度上昇を示す警報が発生しましたが、短時間で発生前の値に戻りました。他のダストモニタ、モニタリングポストに有意な変動がないことや、当該モニタが上昇した時間帯の風向(南東)およびモニタ近傍道路の砂塵(土埃)の分析結果から、発電所構外(南側)道路をダンプが通過した時に舞上がった砂塵の影響と推定しました。

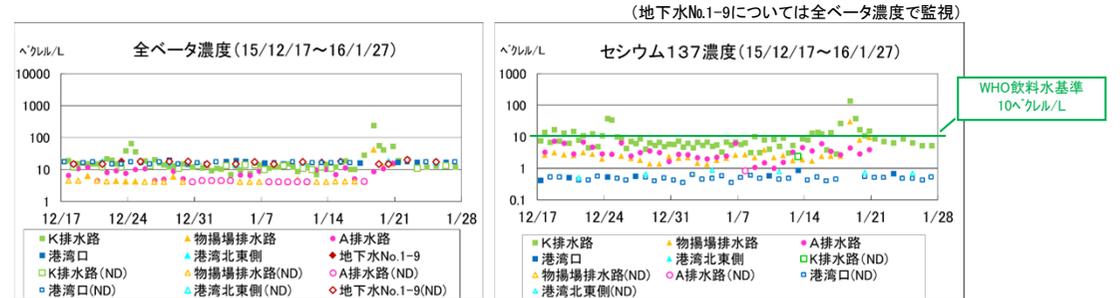
●排水路の放射性物質濃度の傾向

A、K、BC、物揚場の各排水路については、道路や排水路の清掃等の対策を実施しており、各排水路出口付近の放射性物質濃度は、降雨時の上昇はあるものの低減傾向にあります。今後更なる濃度低減に向け、調査と対策を継続していきます。



A 水(海水、排水路、地下水等)

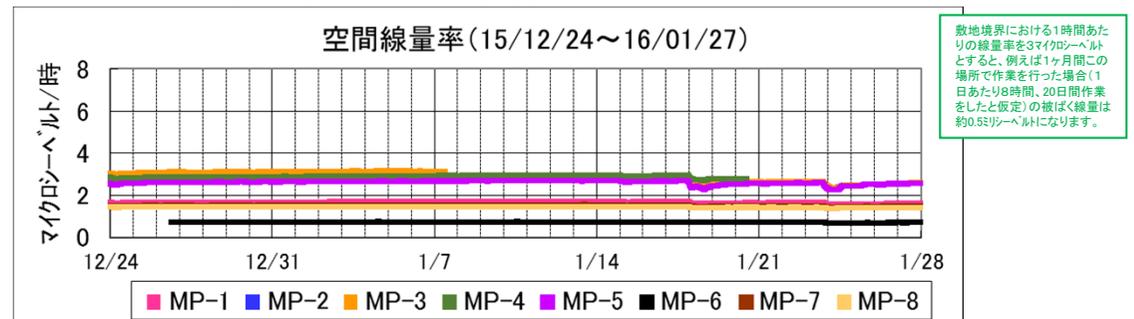
- ・K排水路では、降雨時に濃度上昇が見られるものの、昨年のような大きな上昇ではない状況。
- ・セシウム137は、K排水路を除き概ねWHO(世界保健機関)飲料水基準を下回った。



- 全ベータとは、ベータ線を放出する全ての放射性物質。ストロンチウム、コバルト等が代表的。セシウムも含まれる。
- 物揚場排水路、A排水路の最新データは2016年1月20日。
- (ND)は、不検出との意味で、グラフには検出下限値を記載。

B 空間線量率(測定場所の放射線の強さ)

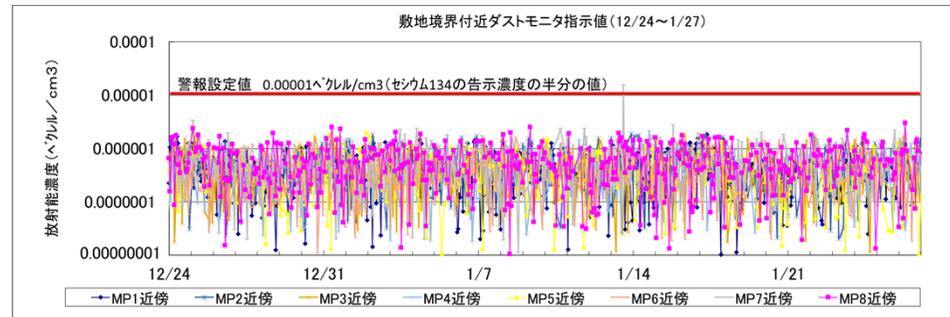
- ・降雨による一時的な線量率低下が何度か見られたが、低いレベルで安定。



- MP-6: 12/18～26は、リプレース工事のため欠測(代替測定器による監視を実施)。
- MP-3: 1/7～15は、リプレース工事のため欠測(代替測定器による監視を実施)。
- MP-4: 1/20～、リプレース工事のため欠測(代替測定器による監視を実施中)。

C 空気中の放射性物質

- ・1月13日のMP-7の一時的上昇を除き、大きな上昇はなく、低濃度で安定。

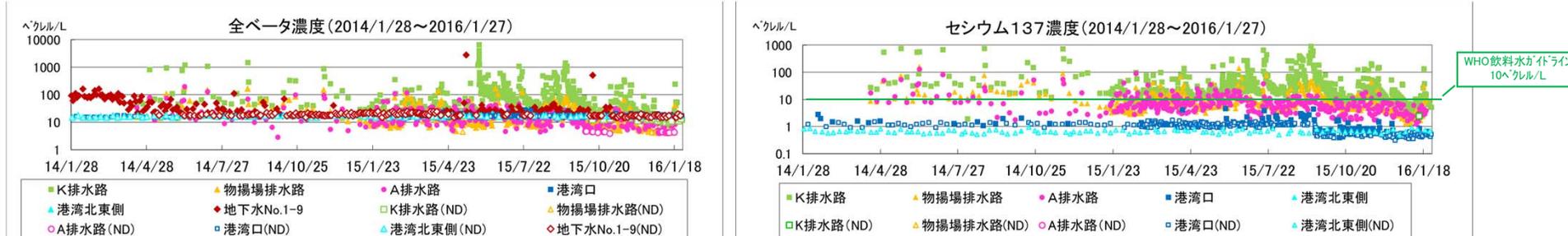


- 告示濃度とは、法令に基づき国が排出を認める濃度。国内の原子力施設共通の基準。

放射線データの概要 過去の状況

A 水(海水、排水路、地下水等)

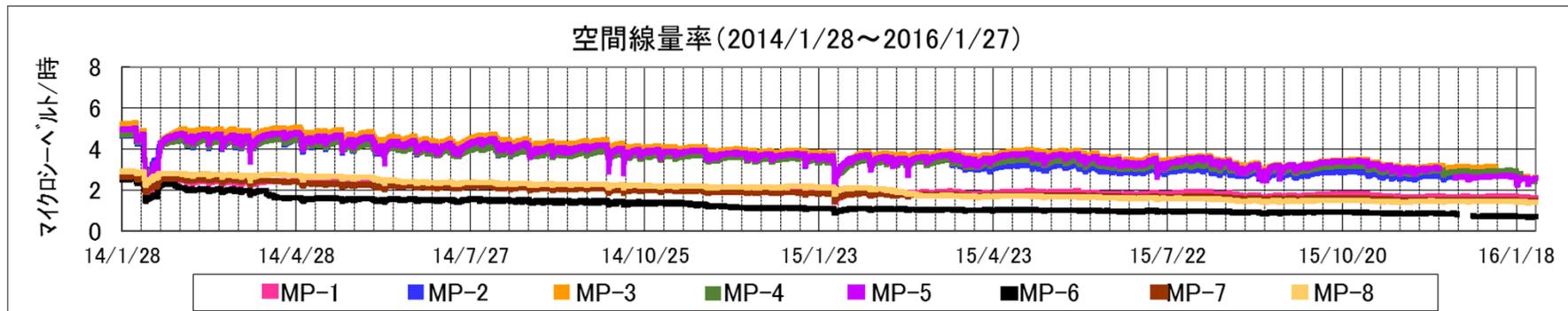
- ・港湾口は低水準で安定。セシウム137はWHO飲料水基準未満。
- ・K排水路は比較的高い傾向。現在、清掃やC排水路への汲み上げ等の対策を実施中。



・K排水路、物揚場排水路、A排水路については2014年4月16日より測定を開始。また、物揚場排水路、A排水路の最新データは2016年1月20日。

B 空間線量率

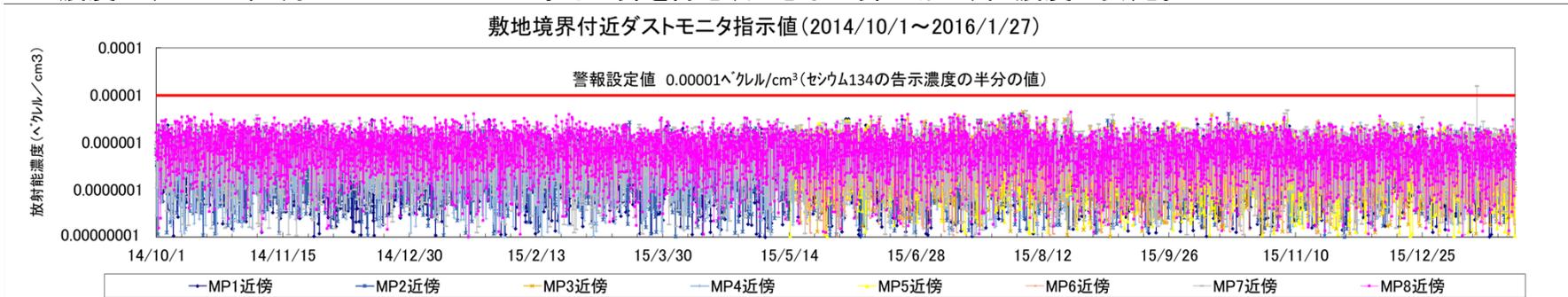
- ・汚染水の浄化、除染、フェーシング等により、全てのモニタリングポストにおいて2013年4月の約半分まで低下。



・MP-6: 12/18~26、MP-3: 1/7~15は、リプレース工事のため欠測(代替測定器による監視を実施)。MP-4: 1/20~、リプレース工事のため欠測(代替測定器による監視を実施中)。

C 空気中の放射性物質

- ・ダストの濃度は、2016年1月13日のMP-7の一時的上昇を除き、大きな上昇は無く、低濃度で安定。



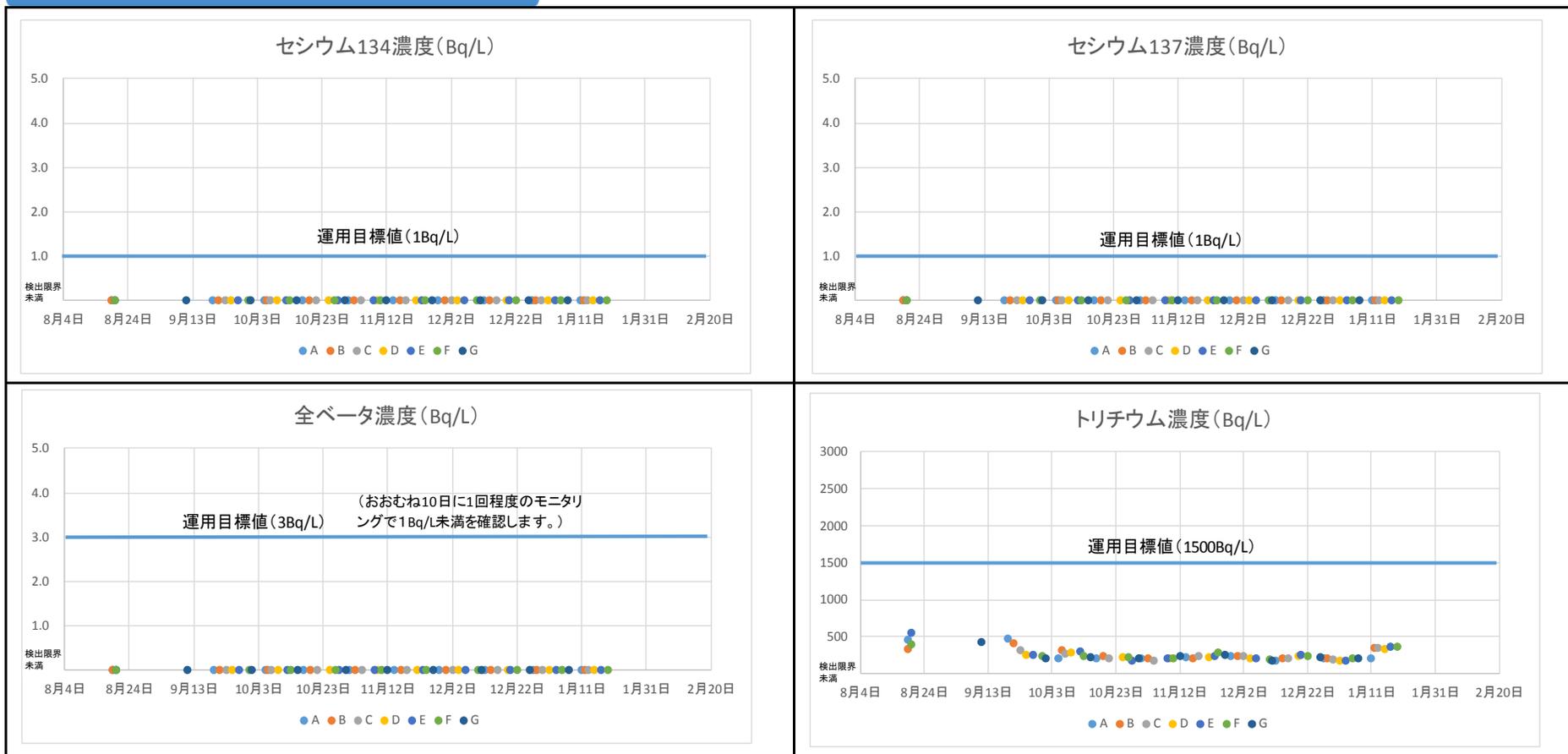
・MP1、2、4、7、8近傍は2014年10月1日、MP3、5、6近傍は2015年5月14日より、測定開始。

サブドレン・地下水ドレンによる地下水のくみ上げと分析

分析結果・排水の実績

- 一時貯水タンクに貯留しているサブドレン・地下水ドレンの分析結果は、いずれも運用目標値を下回っていることを確認しました。
- 同じサンプルを第三者機関にて分析を行い、運用目標値を下回っていることを確認して、9月14日から1月26日までに合計66回、51,672m³を排水しました。

一時貯水タンクの分析結果（当社分析値）



サブドレン・地下水ドレンの分析結果の詳細については、<http://www.tepco.co.jp/decommision/planaction/monitoring/index-j.html#anc01sd> をご覧ください。

構内線量率データのリアルタイム表示について

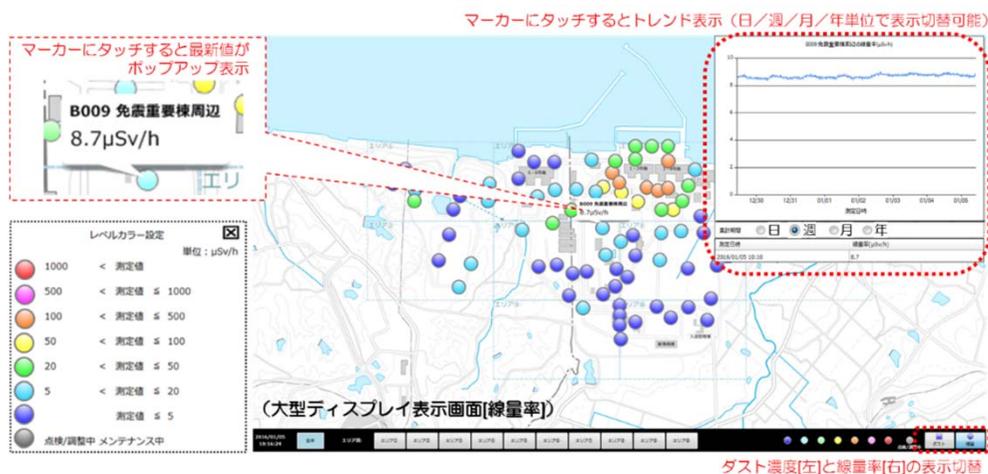
敷地内線量率データの表示について

福島第一原子力発電所の構内で働く作業員の方が、実際に作業する現場の線量率を見ることができるよう、現場に線量率モニタを設置し、リアルタイムで値を表示しています。（2015年4月から20台運用、2016年1月より66台追加（計86台））

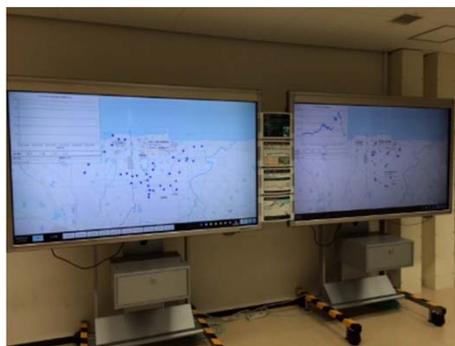
また、現場に出発する前に作業する場所も含めた構内の線量率を見られるよう、免震重要棟及び入退域管理棟で作業員の方が見やすい場所に大型ディスプレイを設置しました。

今後、連続ダストモニタの測定値についても、順次、大型ディスプレイで表示させていく予定です。（1月現在、8箇所。2月末までに全10箇所を表示予定）

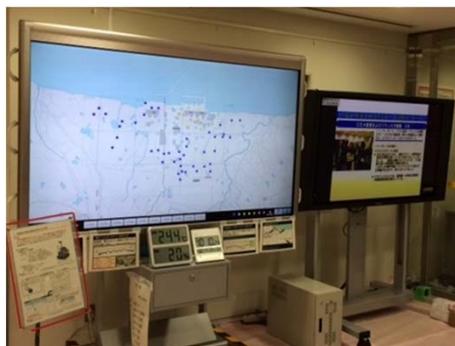
大型ディスプレイの表示イメージ



線量率モニタの設置状況



入退域管理棟内のディスプレイ



免震重要棟内のディスプレイ

線量率モニタ設置場所（2016年1月現在）



● 既運用箇所（20箇所）

● 追加設置箇所（66箇所）